

ヒーローズ塾生のみなさん、保護者様方、こんにちは。

大学センター試験もすでに始まり、2次試験へ、そして、いよいよ高校の私立・公立の一般受験が始まります。緊張を強いられる入試は早く終わらせたいと誰しもが願いますが、見方を変えれば、今までコツコツと積み重ねた努力の成果を発表する機会でもあるわけです。

入試があるからこそ、長時間の勉強にも耐えて今まで頑張ってきたのです。

当日に最高のパフォーマンスが発揮できるように、残された期間の一日、一日を大切に準備を進めていきましょう。

年末の志望校特訓での過去問を何度も解いていますか？過去問は現在の実力さらに得点を上乘せするためには欠かせない存在です。なぜならば、出題傾向に特徴があるからです。岡山県公立入試場合、国語では150字程度の作文が必ず出題されています。これが案外、難しい。そのことを知って準備するのとしらないのでは大違いです。また、私立の場合は、各教科の作問者は例年ほぼ同じです。当然出題傾向に特徴が出てきます。その特徴を踏まえて準備することで、さらなる得点の積み上げが可能になります。

過去問を解く際は、時間を計って本番モードでやりましょう。その際は5分程度短めの時間設定が良いでしょう。また解説をしっかりと読み込みましょう。そして最も大切なのは、「間違いの見直し」、そして「解き直し」です。特に数学の「解き直し」が大切です。出来なかった問題の解説を読んで、その場で理解できたとしても、後日、実際に似たような問題が出た場合、ほとんど得点にはなりません。完全に身につけていないのです。

何日か経ってから、解き直してみてください。自力でそれが解けたら、自分のもの(実力)になったと言えるでしょう。その他の教科でも確実に定着させるための基本は繰り返しです。何度も見直すことで、確実に覚えてください。

この時期は、「どれだけたくさんやったか(量)」から「いくつきちんと覚えたか(質)」を目指しましょう。

最後は合格したいという気持ちを強く持つことです。「絶対に合格したい。」その思いを高めましょう。思いを強くするには、文字に書いたり、人に思いを語ったりすることがお勧めです。また、合格した時の場面(合格掲示板に自分の受験番号を見つけている瞬間)や、合格した後のお祝いの旅行などの場면을想像することもお勧めです。「合格したら、友達と何をしようかな」などと合格した後の楽しいイベントに思いをはせ、気持ちを高めましょう。

そのようにして、合格への思いを強くすることで「本気モード」(やる気)のスイッチがオンになるのです。いわゆる臨戦体制です。本気モードにスイッチが入ると、普段よりもずっと集中し学習効果が高くなります。

日常の学習が大切です。、今や大学受験も国公立は5人に1人、うち私立の4人の半数が推薦入試とAO入試です。大学受験の4割は一般入試を受けずして入学し合格という切符を手にいれているのが現状。推薦入試とAO入試は若干違いますが、評定や面接と論文のみが大半です。大学生の学力低下が言われて久しいですが、その原因の一つにこの推薦入試とAO入試の増大が指摘されている所以です。さすがにここ数年は、学力テストやセンター試験を推薦入試やAO入試に課す大学も増えてきました。推薦は学校長が推薦するわけで高校3年間の評定が重要です。また、AO入試は自己推薦ですが、高校の活動報告が主ですのでやはり、学力はないよりあったほうがいいでしょう。その意味でも、日常の学習は学年があがるにつれて、どんどん大切になっていきます。公開模試や課題テストを意識する。中学生の皆さん、1月5日の岡山県公開模試お疲れ様でした。新学年になったら、また新たに公開模試や課題テストが待っています。今まで、試験前に勉強していましたか。「いいえ」という声が聞こえそうな気がします。定期テストは、得点や順位が出てわかりやすい

個別指導学院ヒーローズ岡山妹尾校

TEL FAX 086-239-8696

ブログ <http://heros-okayama.com>

部分がありました。上がればちょっと友だちに自慢できましたよね。では、公開模試や課題テストはどうでしょうか。定期テストより得点が低いので、少し格好悪い、平均点や偏差値がよくわからない、などのあまり張り合いがなかったかもしれません。公開模試などは志望校を明確にすることで合格判定が出ます。また課題テストも学校の先生に聞けば順位も教えてくれます。公開模試や課題テストは定期テストと違い受験校を決める材料にもなりにもなります。

勉強のやり方は定期テストと異なります。範囲がとても広い。前の学年の内容も入る。どうすればよいか。それは、今までの模試の結果を見直してください。自分がどの分野や単元ができていないかよく示してあります。それを見れば、どこが苦手か、何を忘れていたか、自分がどんなミスをするのかが分かります。まず、自分のことを客観的に見ることができます。次回の模試の前に何を集中してやればよくなるかのヒントがそこにあります。次に、問題をたくさん解きましょう。塾のテキストをやり直してもいいです。塾の先生にプリントを頼んでもいいです。模試範囲の中から単元を絞ってみましょう。どの問題ができ、できないかがはっきりします。次回は4月上旬。チャレンジしましょう。

定期テストは、学校での学習がどのくらい理解できているかを測るものです。（高校受験の内申点に直接、影響する最重要テストです。）当然、学校での内容が中心に出題されます。一方、課題テストや公開模試はいわゆる「実力を測る」ということになります。極端に言えば今まで習ったところ全部ということです。成績を上げるには、定期テスト以上に時間がかかります。ですから、計画的な学習が必要になってきます。偏差値をどこまであげるか、志望校順位を何番にしたいかという目標を持つのがいいでしょう。その目標を達成するために、今の自分に不足していること、必要なことをはっきりさせて勉強にあたったほうが、効率がよくなると思います。

岡山県公立高校受験予想問題中3補習を計7回行います。

毎週土曜の1月18日、25日、2月1日、11日、15日、22日、3月1日（2月8日は除く、代替として2月11日祝日実施）補習ですので無料です。但し、教材準備などのため、参加にあたり毎週その週の水曜までに参加連絡をお願いします。

- 1、国語 11時00分～11時45分（45分）予想問題（注1月18日のみ土曜授業のため時間を16時に開始変更）
- 2、数学 11時55分～12時40分（45分）予想問題
- 3、社会 12時50分～13時35分（45分）予想問題
- 4、休憩 13時35分～14時10分（昼食など休憩、35分）
- 5、英語 14時10分～14時55分（45分）予想問題
- 6、理科 15時05分～15時50分（45分）予想問題
- 7、確認 16時00分～16時50分（50分）各自自己採点、重要点指導
- 8、確認 17時00分～17時50分（50分）重要点指導

速脳速読フェスタ2月1日から3月31日まで開催

速読フェスタ期間中に速読無料体験を実施致します。小学3年から一般の方まで受け付け中です。2013年のセンター試験の問題量（文字数）は国語で4問全部で21,713文字ありました。昨年より文字数は683文字減少しておりますが、内容自体は難しかったようです。実際には、問題文を読んで再び本文を読み返すことがありますから、全体として読む文字数はさらに多くなります。これだけの文字数を読むには、分速400文字（日本人の平均が分速400～600文字です）だと最低54分17秒必要ですが、分速1,600文字になると13分34秒に短縮されます。制限時間が80分です。どちらが有利かは一目瞭然です。入試で本当の差をつけるためには、余裕をもって力を出し切るための「スピード」もとても重要なのです。普段からの速脳速読トレーニングは筋トレと同じです。日々の積み重ねですね。

個別指導学院ヒーローズ岡山妹尾校
TEL FAX 086-239-8696

ブログ <http://heros-okayama.com>